

2020年夏季オリンピックの札幌招致に関する決議

オリンピック及びパラリンピック競技大会は、世界の人々の相互理解と友好親善を増進し、世界平和の実現に大きく寄与する世界最大のスポーツ・文化の祭典である。

2004年アテネ大会における、日本選手団の活躍が記憶に新しいところであるが、次の北京大会以後の2020年に再びアジアから開催地が選出される可能性があり、1964年東京大会以来の日本開催の機会が到来する。

オリンピック招致・開催の意義は大きく、札幌は、1972年冬季オリンピックの開催を契機に、本格的に国際化の道を歩み始め、2002 FIFAワールドカップを始めとし、数々の国際的イベントを開催するなど、その素地は十分であり、市民のスポーツ振興や国際交流の促進はもとより、青少年の育成、地域の経済発展など国際都市としてさらなる飛躍をする絶好の機会である。

よって、本市議会は、国や北海道の支援、市民や経済界、関係機関の理解と協力のもと、選出された場合、世界史上例を見ない夏冬開催地の栄誉となる2020年夏季オリンピック及びパラリンピック競技大会の札幌招致を目指す意思をここに表明する。

以上につき決議する。

平成17年(2005年)3月30日

札幌市議会

(提出先) 札幌市長

(提出者) 自由民主党、公明党及び自由民主党第二所属議員全員  
並びに会派無所属佐藤美智夫議員